

練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳蔵
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

ー ヒバクシャ国際署名推進の飛躍台に ー

青年劇場「あの夏の絵」の練馬公演を文化の会が主催 7月13日(金)午後6時半～ 生涯学習センターで

文化の会会員で青年劇場の団員から、高校生の被爆体験の継承を描いた「あの夏の絵」の練馬公演に協力してほしいとの申し入れを受けて、会として積極的に協力することになりました。

先ず、実行委員長を文化の会共同代表の有原誠治さんにお引き受けいただくとともに、練馬公演を主催することになりました。会としては周年企画でこうした大型イベントに取り組んできたことはありますが、通常の活動ではなかったこと。それだけに生涯学習センターの300の席を満杯にするには、会員の大きな協力をいただかないと到底無

理です。このためまず5月19日の総会後の懇親会を「あの夏の絵」関連のトーク&懇親会企画として組み立てています(下記)。

ともかくチケットを多くの関係者に渡して捌きに協力していただくことが何よりも大切です。

「あの夏の絵」チケットご希望の方は、総会出欠用葉書に「チケット希望」とお書きになるか、または電話&FAX(03-3991-9165)で田場までご連絡をください。連絡を受け次第チケットと振込用紙をお送りします。

(田場・記)

総会終了後に「あの夏の絵」公演関連でトーク&懇親会

5月19日午後5時～8時 区役所20階交流会場で 会費1500円
永田武蔵大教授、小倉立大准教授が広島基町高校との繋がりをトーク

5月19日(土)は文化の会の総会終了後5時から会場を変えて、20階交流会場で「あの夏の絵」トーク&懇親会を行います。

トークは「被ばく体験をどう受け継ぐか」をメインテーマに、永田浩三武蔵大教授に「基町高校と丸木美術館」、小倉康嗣立大准教授に「基町高校のヒアリング調査から」それに基町高校卒業生の小川美波さんに「原爆の絵」に取り組んで」の

テーマで報告していただきます。

実行委でお話を聞いた際は十分な時間がありましたが、この懇親会では各30分程度しか発言時間が取れませんが、チケット販売に力が入るような内容になると思います。東京土建、新婦人の関係者などの発言も聞き応えがあるでしょう。

(田場・記)

2018年度総会のご案内

5月19日(土)午後4時～5時 区役所19階1902会議室で
18年度活動方針・17年度経過報告・予算採択し、新役員選出へ

2018年度総会は5月19日(土)午後4時～5時区役所19階1902会議室で行われます。議案書は結局当日配布になりますが、練馬区内の特に地域9条の会の活動が活発化するにつれ、文化の会活動の力点をどこにおくのか、難しくなっています。その辺の議論が総会でできるといいのですが・・・。

それと区内団体の中では、90歳代の代表者が生まれたと言いますが、高齢化対策も会員構成や役

員体制の構築には欠かせない視点です。

なお、総会・懇親会への出欠ハガキ(62円切手の添付が必要です)を5月12日必着で同封しておりますが、特に「トーク&懇親会」の準備の都合がありますので、是非、ご返事をお出しいただきたくお願い申し上げます。

(田場・記)

第5回『経済』公開講座&フリートークのご案内（講師：眞嶋康雄）

テーマは「消費税の問題点と税制の歪みPart II」

6月2日（土）午後6時半～8時半 練馬ココネリ第5研修室

税関係第2弾、我が国の本当の税収額はいくら？ 消費税は増税が正しい？ などなど、新しい観点から眼からウロコの税制改革の提起も。「揺りかごから墓場まで」の消費税の真実を知ろう。

74兆円か57兆円、どっちが本当？・・・消費税を上げて税収は増えない？ 還付金って何？ 企業業績は戦後最高なのに、法人税増えない、どうして？ 消費税8%じゃなくて14%って本当？

（眞嶋康雄・記）

増山れな監督の注目作『はじまりの日 ベーシックインカム元年』

5月21日（月）午後6時半～大泉勤労福祉会館で試写会
反核映画『サダコの鶴』から2年、アーティスト増山監督の新作

近い将来、AIロボットの台頭で約5割の仕事が失われる危機到来が噂されている。そんな中、アメリカではハワイ州でベーシックインカム推進州法が施行され、フィンランドでは実証実験が行われている。ベーシックインカムとは、最低限生活保障金給付制度。今や世界で注目されている制度と言えよう。憲法25条に則ったものではあるが日本では未実施。

ながらサラリと、しかし真面目に描いた意欲作。台湾フェルモサ国際映画祭招待作品・ポルトガルベーシックインカム国際会議招待上映作品。練馬・文化の会ではとりあえず幹事会レベルで5月21日に試写会を行い、本上映会の可否を検討する。是非とも多くの幹事の方に観てもらい十分な論議をしていただきたい。（麗梨ReNa・記）

本作は「もし日本で制度化されたら？」の仮定のもと、特撮テイストもちょっぴり取り入れ

※私の名前の麗梨は作曲家レナード・バーンスタインから採ったもので、増山監督からの由来ではありません。

3月11日に第4回「経済」公開講座&フリートーク「深刻化する財政問題」 約20人が参加し、中国経済、仮想通貨などで活発な質疑

第4回「経済」公開講座は、3月11日（日）、練馬ココネリで「深刻化する財政問題—アベ家の家計簿解説・アベ家はなぜ破産しないのか—」のテーマで開催。国の借金が1000兆円を超えるメカニズムと国債に依存する財政を家計簿に例

えて説明。倒産した企業と同じように国も債務超過、GDPも停滞する経済政策の失敗も解明。フリートークでは参加者から「中国経済」、「仮想通貨」などとこれまでにない活発な質問が出されました。

（眞嶋康雄・記）

順調に準備進む「ねりま沖縄映画祭」—試写会で上映作品を選別 9、10月は武蔵大、大泉ゆめりあ、生涯学習センター（旧公民館）の会場を確保 区役所地下多目的室の9月分は6月1日に申し込みへ

ねりま沖縄映画祭は3月に実行委を立ち上げ、作品の試写をメインに話し合いを行っています。上映に合う会場が公的施設に少なく、ほとんどの施設が3か月前申し込みになっており施設が確保できるのは6月、7月のため。まだ作品の選定にも時間がかかりそうです。

5月上旬時点で決まっているのは、9月22日（土）の武蔵大での森口豁監督・永田浩三教授トークと森口作品の上映、9月29日（土）生涯学習センターでの「米軍の恐れた男—亀次郎」上映、10月12日（金）夜間の大泉ゆめりあのお会場確保です。

（田場・記）

○6月幹事会は6月5日（火）午後6時半～ココネリ多目的室です。

○年会費（2,000円）未納の方には振込用紙同封しました。

納入状況のお問い合わせ等は轡田さんまで（3948-5129）